

## 口吉川地区市政懇談会 議事録

- 1 日 時 令和元年9月19日  
午後7時30分～9時15分
- 2 場 所 口吉川町公民館大会議室
- 3 参加者 口吉川地区 15人  
市 25人（市長、副市長、副市長、教育長、総合政策部長、総務部長、市民生活部長、健康福祉部長、産業振興部長、都市整備部長、上下水道部長、議会事務局長、消防長、教育総務部長、教育振興部長、企画政策課長、生活環境課長、人権推進課長、商工振興課長、観光振興課長、道路河川課長、プロジェクト推進課長、交通政策課長、学校教育課長、学校教育課副課長）  
オブザーバー 4人  
傍聴者 19人

### 4 内 容

(1) 地区からの意見・提言及び市からの回答  
別紙のとおり

(2) 意見交換

ア 地域の過疎化対策について

#### 【口吉川地区】

生活に密着した店舗が地区から撤退し、住民は不安を感じている。補助金や助成金など何らかの対策ができないか。補助金や助成金などによって事業者が入ってくるわけではないことはわかっているが、他市の補助金、助成金の制度はどのような状況か。

#### 【商工振興課長】

昨年も同様の意見をいただいた。その後、地域では買い物バス体験を実施されている。市では、移動販売や地域の既存店舗の設備に対する補助制度があるが、店舗が無くなった地域において、新たに補助制度を設けたとしても新たな事業者は入ってこないと考える。また、小売店の経営が難しいという現実もある。他の地域では、地域で話し合いをされて、その地域に合ったようなかたちで取組を進められている事例

もある。ぜひ地域で話し合いをしていただき、地域の問題として取り上げ、宅配や移動販売などどのようなかたちがいいのか市も一緒に意見交換させていただきたい。

**【市長】**

今年の市政懇談会で意見交換した中で、例えば移動店舗ができる事業者や、運転手を地域で担っていただければ買い物のための車両を貸すことができる事業者もあると話をさせていただいた。これらのことも含めて口吉川地区にあった方法があると思うので、ぜひ公民館の職員や担当課の職員も入って意見交換することで、よりよい方向に進めていきたい。例えば、定例の区長協議会やまち協の会合で、担当課も入って意見交換させていただきたい。

**【口吉川地区】**

高齢化が進み、三木の市街地まで買い物に行けない方も増えている。宅配などの活用も視野に入れながら、検討したいので、市にも協力をお願いしたい。

**【口吉川地区】**

都市計画マスタープランでは、口吉川地区の10年後の65歳以上の比率が58.7%となっている。細川地区が44.7%、志染地区44.9%と他の地区に比べて高い比率である。高齢化率を下げるためにどういうことができるのか。小売店の話も出ているが、大きな雇用を生むようなことも考えていかなくてはいけない。市長が言われたように、一緒に話し合いを進めていくということは心強いので、ぜひ進めていただきたい。具体的にはどのように進められるのか。

**【市長】**

地域で考えていただかないと、口吉川地区に合ったかたちにできないので、ぜひ定例の区長協議会やまち協の会合で議論いただきたい。その中で、制度のことなどについては、市の職員も入って一緒に議論させていただく。

**イ 高齢化に伴う地区の役職について**

**【市長】**

具体的に、この役職は自治会単独では難しく近隣の自治会と合同で検討したいということであれば、市も相談や調整に当

たりたい。地域の実情があると思うので、検討いただきたい。

**【口吉川地区】**

たくさんの役職があるため、小さな地区では複数の役職を兼務することもあり、負担が大きい。自治会は独立しているが、馬場地区、東地区、蓮花寺地区の合同で役職を出しているものもある。このように小さな地区に対して対応いただいているが、さらに高齢化や過疎化が進むと地区として成り立たなくなるのではという不安がある。

**【口吉川地区】**

営農組合を組織し、現在は順調に運営できているが、今後高齢化が進み、将来的に機械を動かす人がいるのか不安である。口吉川地区だけの問題ではないが、市からよい提言があればいい。

**【産業振興部長】**

営農組合を組織しても、その後高齢化により運営できなくなるということもある。10年先の農業の姿をイメージして作成した「人・農地プラン」の現実的な見直しの必要があると考えており、市としても協力できるところは協力をするので、ご相談いただきたい。

ウ 口吉川小学校前及び宮前交差点の信号機、口吉川町公民館から北側に上がった県道交差点について

**【口吉川地区】**

口吉川小学校前及び宮前交差点の信号機については、老朽化すればLED化するという事は承知している。しかしながら、口吉川小学校前の交差点では、ここ数年冬場の西日が信号に当たるときに、接触事故になりかけたことがあると聞いている。少しでも見やすくしていただけないかという思いで意見としてあげた。また、口吉川町公民館から北側に上がった交差点については、口吉川町公民館やデイサービスセンターなど公共施設の入口であり、危険な状態でいいのか。夜はライトで車が来ているのがわかるが、昼間はロードミラーでは車が見にくい。例えば、口吉川地区の方が盆踊りなどで口吉川町公民館に来られたとき、帰る際に県道に出にくい。県道の交通量も増えている。できれば感知式の信号機の設置

などについて、県や警察に働きかけていただきたい。

**【市民生活部長】**

口吉川小学校前及び宮前交差点の信号機については、警察、道路管理者、生活環境課、地域の方で現場確認をして、話をさせていただきたい。口吉川町公民館から北側に上がった県道交差点については、仮設のガードレールの移動などを県で検討いただいている。信号機や交差点のことについては、市単独での対応は難しいので、県への要望に当たって地域の方の協力もお願いしたい。

**【プロジェクト推進課長】**

県の加東土木事務所に仮設のガードレールを移動できないか話をしている。県としては、路肩が狭く、見通しも悪いので、仮設のガードレールを移動させる方向で検討している。移動するとなれば沿道の方との調整が必要であるため、移動することが決まれば連絡する。

**【口吉川地区】**

西日により信号機が見にくいことに関しては、基本的にはドライバーがよく信号機を確認すれば事故は起きないということだが、地域からの要望もあるということを警察に伝えていただきたい。

**【市長】**

先ほど話があった仮設のガードレールの移動については、県で方針が決まれば、警察も含めて地元との調整をさせていただくので、地元の方々もご協力をお願いしたい。

**エ 観光、交通インフラ、再開発について**

**【市長】**

神戸電鉄三木駅舎の整備については、令和2年度末の完成の予定で進めている。地権者と調整し、土地を購入してロータリーなどを整備する予定である。また、旅行会社との連携による三宮や明石方面からのバスツアーについては、今日の新聞にも掲載されているところである。

**オ 地域の公共交通の整備充実について**

**【口吉川地区】**

三木市全体としての過疎地域の交通体系の検討状況を聞きたい。10年先、20年先の公共交通をどうするのか。また、地域ふれあいバスやみっきいバスなどはどれくらい利用されているのか。各年度の利用実績、これからの見通し、これを改善するための方策についてはどうか。他の自治体ではデマンドタクシーやデマンドバスなどに取り組んでいるところもあるが、これらの取組についての市の検討状況も聞きたい。

**【都市整備部長】**

バス交通については、昨年度に「三木市公共交通網形成計画」を策定し、併せて、バス交通の見直し方針を定めた。口吉川地区においても説明会を開催した。乗客1人当たり3万円の経費がかかっている路線もあり、このままでよいのかという議論もある。一方で、移動手段の確保ができていないことも承知しているため、バス交通の見直しを行っているところである。地域ふれあいバスについても地域の努力で続けられているが、ドライバーの高齢化の課題がある。その対策として、吉川地区でデマンド型交通の導入検討を行っており、他地域でも活用できないか検討したい。10年先、20年先の人口構成も見据え、赤字補てんを含め年間3億円もバス交通に経費をかけている点も考慮して見直しを行い、減便や廃止、休止、路線の統合などあらゆる方法によりバス交通の見直しを行う。

**【口吉川地区】**

法的な規制もあるが、全国には口吉川地区と同じような状況の地区もあると思うので、国への要望も含めて抜本的な対策をお願いしたい。

**【都市整備部長】**

バス交通については、強い法規制がある。既存のバス路線があれば、同じところに別のバスを走らせることは難しい。国としても、高齢化で移動手段がない状況や、高齢者の交通事故が増えているという状況を踏まえ、何とかできないかと考えている。市としても規制緩和など国にしっかりと要望していく。

カ 防災に関する河川整備について

【口吉川地区】

昨年の7月豪雨で避難勧告が発令されたが、現場を見た上で発令されたのか。

【総合政策部長】

河川の水位や今後の雨量などを勘案し、発令している。

【口吉川地区】

河川の水位はカメラで見ているのか。

【副市長】

水位計がある場所の河川の水位を見て、避難するまでにかかる時間を考慮して避難情報を判断している。水位計がどれぐらいの水位となっているか、その水位に応じて周辺の地点がどれぐらいの水位となるのかを判断して避難情報を出している。

【口吉川地区】

口吉川地区の避難情報は、どこの水位を見て判断しているのか。市民は河川のカメラでしか水位の状況を見ることができないため、細川地区の水位しか見られない。去年は、大島地区で河川があふれ、里脇地区でも水田に水が入ったりしている。根本的には堤防を高くしていただきたいが、最低限河川の状況をリアルタイムで見られるようにしていただきたい。仕事などで遠くにいる場合、河川のカメラでしか状況がわからず、避難勧告や避難指示が出てからでは家にも帰れない。

【消防長】

吉川町山上、三木市本町にも水位計があり、インターネットによりリアルタイムで見ることができる。これらの水位を基に今後の雨量などを予測して避難情報を出している。

【口吉川地区】

それはわかっている。水位計がある場所しか状況がわからない。口吉川地区で浸水するところがあるのに、なぜ水位計がないのか。口吉川地区の状況を見ることができない。

【副市長】

水位計がある場所とよく浸水する場所が違うことがある。そういう危険な場所がカメラで見られるようにできればいい。

いが、基本的には水位計がある場所をカメラで見られるようにしている。河川管理者からカメラの設置を見直したいと聞いているので、本日の意見については県の加東土木事務所と調整する。

#### 【口吉川地区】

里脇地区のあたりで、上流からの木やゴミがたまり、水があふれやすい状況である。河川の整備は進めていただけないか。

#### 【市長】

県は、河川整備計画に基づき下流から整備を進めている。美囊川では、加古川との合流点から久留美の志染川との合流点までが河川整備計画に入っている。これを順次進めてから、さらに上流の細川、口吉川という順になる。これをすべて実施するという事になれば50年かかるか、100年かかるかわからないため、県は平成28年度から河川中上流部治水対策事業として優先順位の高い場所から整備に取り組むこととしている。美囊川であれば、吉川町渡瀬において河川整備を進めている。当該箇所は人家が多いため優先順位が高く、優先的に取り組んでいる。なお、平成28年度には、口吉川地区において伐木、伐竹を実施している。

### キ 環境対策について

#### 【口吉川地区】

昨年も悪臭の件について市政懇談会で取り上げたが、根本的な解決ができていない。事業所の従業員が朝方に事業所の排気口や入口を開けたままの状態にしていることを事業者に指摘した。事業者はそのことを知りながら、改善していなかった。地元としてはそのような業者を信用できない。区長協議会でその問題を取り上げて、やっと改善した。指摘されるまで改善しようとしないう事業者に対し、行政や地域がいくら要望しても改善されるとは思えない。事業者も問題点が分かっていると思う。9月に区長協議会に事業者が説明に来られ、努力をされているとのことであった。確かに臭いは減っている。しかしながら、それ以降、保木地区でも臭いがしている。事業所がなければ悪臭がない状況であり、悪臭は公害

である。地元で迷惑をかけていることも分かっているはずであるが、事業者が真摯に対応いただけるのか不安である。区長協議会の指摘により排気口を撤去してガラス窓とすることで事業者に対処いただいた。指摘しなければ、排気口や入口を開けたままで、臭気を出し続けることとなっていた。事業者は悪質である。

**【口吉川地区】**

臭いがあったときを記録している。9月に入ってからでも6回記録しており、減っていない。堆肥を出荷するときには必ず施設を開けるので、どうしても臭いが出る。取り締まることはできないのか。

**【市民生活部長】**

臭いの状況は十分承知している。悪臭の原因が施設の構造や脱臭装置等にあるのではないかということは認識している。産業廃棄物処理施設の許可権者は県であるが、施設の運用の改善について、県と一緒に監視し、指導していく。

**【生活環境課長】**

区長協議会で事業者からその都度改善報告が行われている。昨年度には、発酵システムに難がある状況であったため、発酵不適物を除外したが、それでもまだ臭いがある。区長協議会で事業者に対して指摘した件についても市は指導していたが、事業者が緊急排煙装置を開けていた。事業者には、地域にとけこんで施設を運営していくという意識を持っていただく必要があり、その都度指導している。産業廃棄物処理施設の許可については県の権限だが、市としてできることもあるので、県と市が一緒になって取り組んでいく。また、立入検査の結果も報告する。

**【口吉川地区】**

県の話も聞きたいので、市にお願いして県庁で話を聞く場を設定いただいた。県に現場の状況を聞いていただくとともに、なぜ県が悪質な業者に許可をしたのか、その経緯を聞きたい。施設の建設前の説明では、臭いが出ない施設であるという説明であったため、反対する理由がなかった。施設が建ってしまったので退去していただくのは難しいが、施設がある限り臭いはなくなる。市からも引き続き強く指導

をしていただきたい。

#### ク 中学校再編について

##### 【ロ吉川地区】

星陽中学校の統合については、ロ吉川地区でも意見がなかなかまとまらない。PTAでも引き続き話をしているが、そのまま星陽中学校を存続する案も考えていただきたい。星陽中学校に通学している細川地区とロ吉川地区の生徒が別々の学校に行くことになってしまう。また、統合される三木中学校と吉川中学校の進学先などの情報を提供いただきたい。どちらの中学校と統合するのかまとまらない場合は、選択制ということも考えられないか。家庭によって考え方も違う。

##### 【教育振興部長】

PTAの皆様には統合に向けて協議いただいております、地域においてもバックアップいただいている。三木中学校と吉川中学校の情報については、教育委員会に尋ねていただければできる範囲で協力させていただくので、ご相談いただきたい。

#### ケ その他

##### 【ロ吉川地区】

ロ吉川地区でも空き家が多い状況である。今後どのような対策を講じるのか。

##### 【生活環境課長】

市では、今年度中に空家対策計画を策定する。今年度から空き家対策係を設置し、空き家に対する相談窓口を設けている。空き家の苦情だけでなく、まだ空き家になっていないが今後空き家になる可能性があるような状況も含めて相談いただきたい。

##### 【ロ吉川地区】

老朽化した空き家を解体する場合の補助金はあるか。

##### 【生活環境課長】

倒壊の危険がある空き家の解体及び撤去に対する補助制度がある。所得要件があるが、補助金額は費用の2分の1で、100万円を限度としている。いまにも倒壊の危険があり、市の指導を受けた空き家が対象となる。

**【口吉川地区】**

口吉川地区でも空き家に転居してくる人がいるのではないかと。人口を増加させるため、空き家に転居してもらえようかなことをしていただきたい。

**【生活環境課長】**

空家対策計画には、空き家を活用した移住定住の促進についても盛り込むこととしている。

**【市長】**

空き家を活用した移住定住の促進のため、空き家バンク制度も設けている。

**【口吉川地区】**

空き家の担当職員は何人いるか。

**【生活環境課長】**

空き家対策係には、3人の職員を配置している。

**【口吉川地区】**

空き家対策は他市でもやっている。三木市は遅れているのではないかと。

**【副市長】**

三木市では、64棟に対し危険空き家の指定をしている。北播磨地域では小野市が5棟を指定し、他の市町の指定件数はゼロである。三木市は危険空き家の対策に重点を置いて取り組んできたが、今後は空き家の利活用にも取り組んでいく。